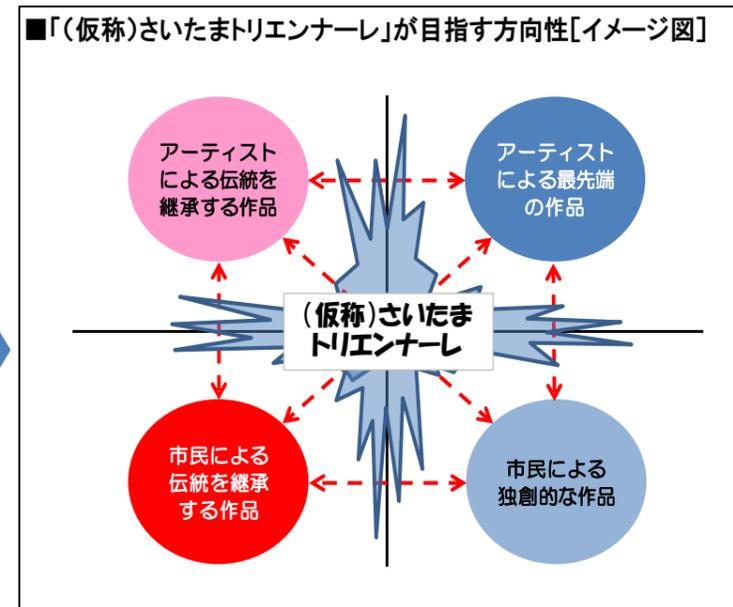
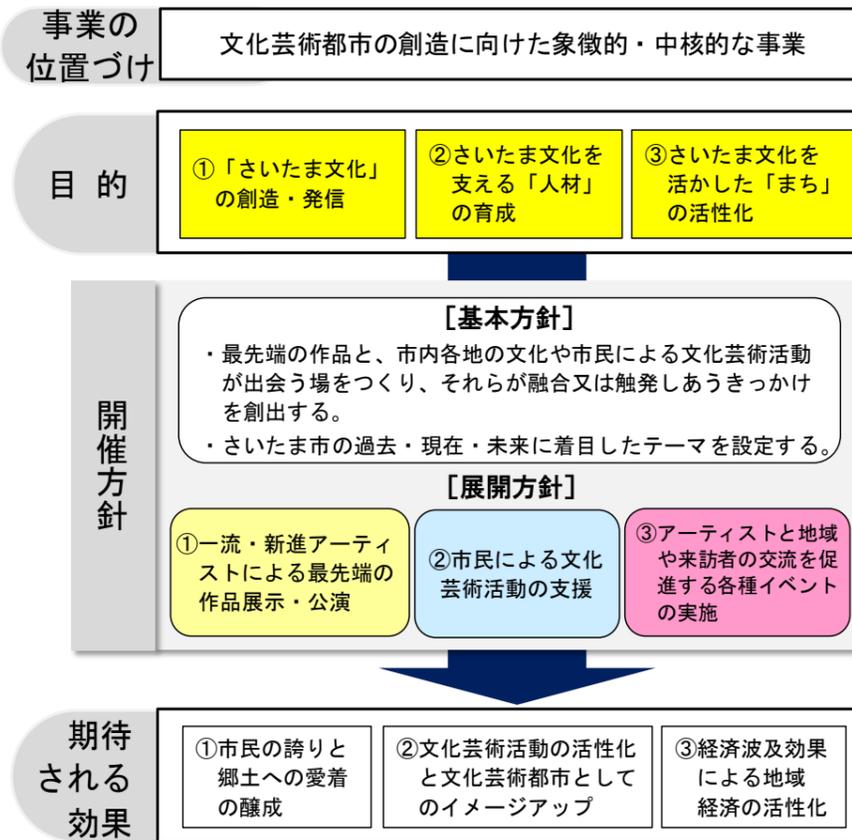


# (仮称)さいたまトリエンナーレ基本構想の概要

## 1 基本的な考え方



■(仮称)さいたまトリエンナーレの特徴

プロのアーティストによる最先端の作品を紹介するだけでなく、それらと市内各地の文化や市民による文化芸術活動が出会う場をつくり、それらが融合又は触発しあうきっかけを創出する。

### ■展開方針のイメージ

#### ①アーティストによる最先端の作品展示・公演

ジャンルにとらわれず、領域横断的に先端的な作品を紹介

##### 【展開例】

- ・社会への関心や働きかけを志向する作品
- ・テクノロジーなど他領域との融合を志向する作品（メディア・アート※1、インタラクティブアート※2など）

#### ②市民による文化芸術活動の支援

「さいたまトリエンナーレ」の開催趣旨に沿った文化芸術活動を支援

##### 【展開例】

- ・市民主体のアートフェスティバルとの連携
- ・運営ボランティアの活動支援
- ・子どもが文化芸術に触れる機会や体感できる場の創出

#### ③アーティストと地域や来訪者の交流を促進する各種イベントの実施

交流を促進し、楽しさやにぎわいを創出する各種イベントを実施

##### 【展開例】

- ・さまざまな「まつり」や「観光イベント」との連携
- ・アーティストと参加者が共同で作品制作を進めるアートプロジェクト（アーティスト・イン・レジデンスの実施）

※1 コンピューターをはじめとする様々な先端メディア・テクノロジーを使用したアートの総称。  
※2 観客の参加を促すアートの総称。センサーを使用したりすることによって、鑑賞者のアクションや環境の変化を変数として作品に反映させるものが一般的。

## 2 開催構想

### (1) 名称

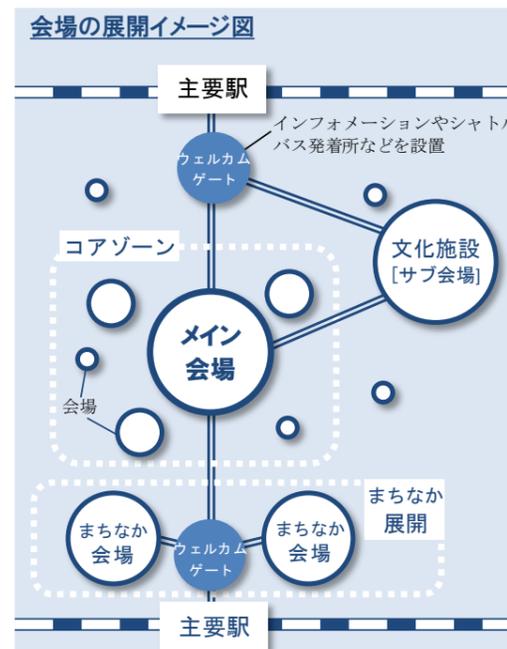
- ・当面は「(仮称)さいたまトリエンナーレ」（正式名称は、準備委員会設置後に決定）

### (2) 開催年、開催時期・会期

- ・初回：平成28年度（さいたま市誕生15周年）  
※以降、3年ごとの定期的な開催を目指す
- ・会期と開催時期は、今後検討を深め、準備委員会設置後に決定

### (3) 会場

- ・来場者の利便性確保に配慮した上で、メインテーマと企画内容を勘案し、本市の地域特性を引き出しながら、回遊性を高める会場配置を計画
- ・メイン会場を中心に、徒歩又は自転車で回れる範囲の「コアゾーン」を設定
- ・その上で、美術館などの「文化施設」や「まちなか」の空き店舗などを活用
- ・大宮駅、さいたま新都心駅、浦和駅などの市内主要駅周辺を「ウェルカムゲート」として位置付け
- ・メイン会場等はメインテーマと企画内容を検討する過程で、早期に決定



### (4) 事業規模

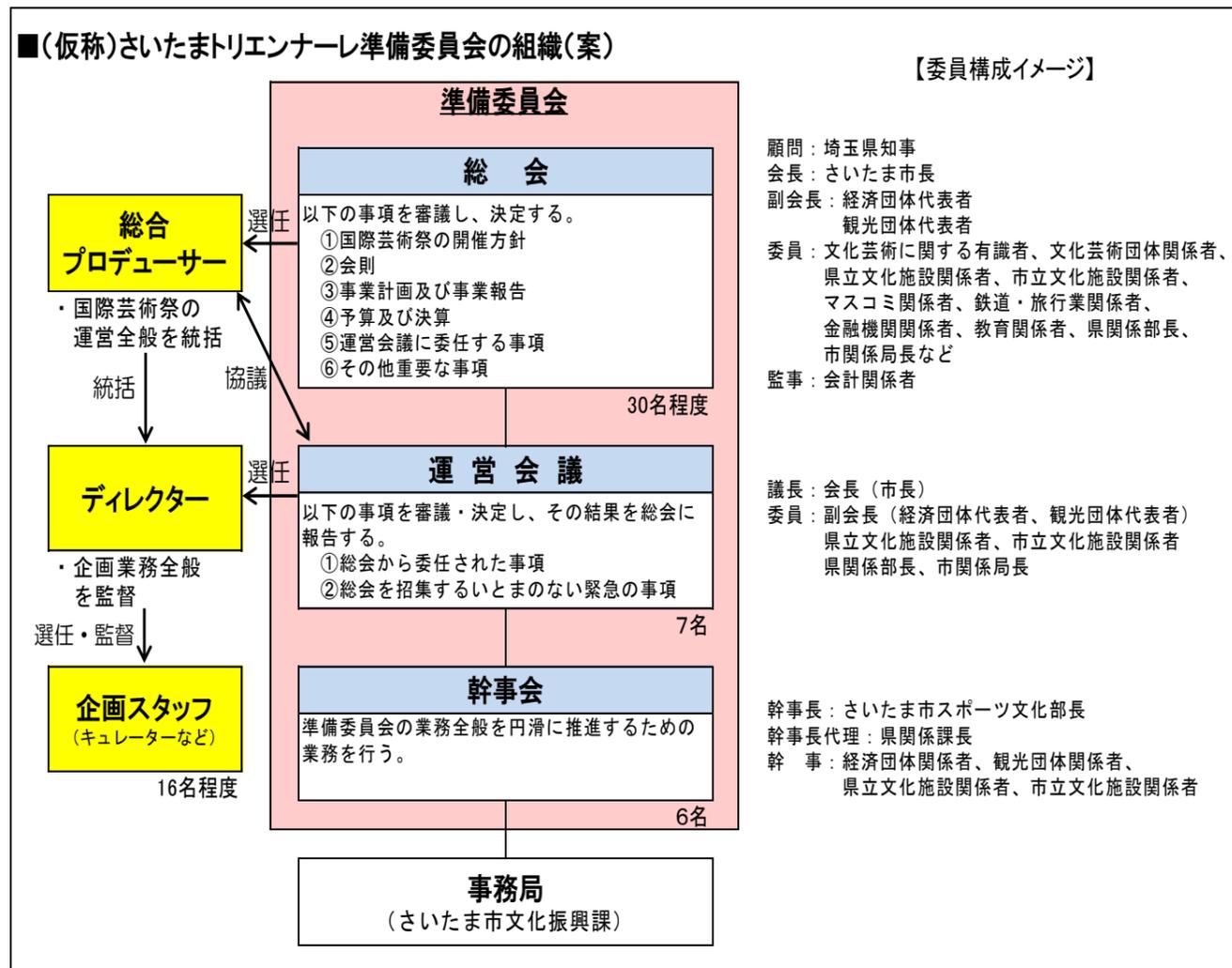
- ・準備委員会で本市にふさわしい事業規模や内容を検討
- ・入場料収入のほか、公的な助成金等の活用や企業等の協賛・協力の募集など、さまざまな資金調達の方法を検討

#### ■国内の主な先行事例の事業規模(参考)

	会期	参加作家数	総事業費	来場者数	経済効果
水と土の芸術祭2012	164日	59組	約3億円	約72万人	約20億円
ヨコハマトリエンナーレ2011	83日	77組	約9億円	約33万人	約44億円
瀬戸内国際芸術祭2013	108日 (3期計)	200組	約10億円	約107万人	約132億円
あいちトリエンナーレ2010	72日	131組	約12億円	約57万人	約78億円

### 3 開催体制

- ・平成26年度の早い時期に「(仮称)さいたまトリエンナーレ準備委員会」を設置
- ・準備委員会は、国際芸術祭の運営全般を統括する「総合プロデューサー」と企画業務全般を監督する「ディレクター」を選任
- ・具体的な開催計画などは、ディレクターと企画スタッフを中心に検討
- ・ディレクターは、基本構想に掲げる開催目的や開催方針を踏まえた上で、先端的な事業構想を描きその実現に向けて実効性のある企画チームを組織できる能力や、組織運営の経験などを重視して選任
- ・企画段階から市民の参画を求めるなど、市民とのパートナーシップの構築を目指す。
- ・開催計画決定後は、準備委員会を実行委員会に改組



### 4 スケジュール

- ・平成28年度の初回開催に向けて、以下のスケジュールで準備を進める。

- 平成26年度
- ・準備委員会の設置
  - ・総合プロデューサー、ディレクターの選任
  - ・具体的な企画内容の検討
  - ・キックオフイベント等の開催
  - ・開催計画の決定、実行委員会の設置
- 平成27年度
- ・開催準備（アーティスト選定、市民事業の募集）
  - ・詳細計画の策定
  - ・プレイベントの開催
  - ・開催PR
  - ・運営ボランティアの募集
- 平成28年度
- ・第1回（仮称）さいたまトリエンナーレ開催
- ↓
- 平成31年度
- ・第2回（仮称）さいたまトリエンナーレ開催

#### ■平成26年度の準備スケジュール(参考)

業務	平成26年度			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
1. 準備委員会の開催	★準備委員会設立 ディレクターの決定★		★開催テーマ・開催方針の決定	開催計画の決定★
2. 国際芸術祭の企画	開催テーマ・方針の検討、会場確保等		招聘アーティストの選定、開催計画の検討	
3. アーティスト・イン・レジデンスの企画	候補地区の検討	空きビル等所有者との交渉、招聘アーティストの選定		
4. 市民事業の企画	実施スキームの検討		募集要項等の検討・作成	
5. 広報・プロモーションの実施	広報戦略、公式ホームページ、ロゴマークの作成			★キックオフイベント 開催計画発表会★